

2020年5月28日
イオンエンターテイメント株式会社

安心安全をさらに強化 自動検温システムをイオンシネマ全劇場に導入

全国35都道府県に、国内最多の「イオンシネマ」92劇場、785スクリーンを展開するイオンエンターテイメント（本社：東京都港区）は、新型コロナウイルス感染症拡大の予防と、お客さまがより安心して劇場をご利用いただけるよう、スタッフによる検温に加え、自動検温システム「SenseThunder-Mini（センス・サンダー・ミニ）」（以下「本検温システム」といいます）を2020年5月28日（木）から全劇場に順次導入いたします。

本検温システムは、劇場のロビー入口に設置した小型端末がAI技術と赤外線カメラを使い、対象者の体温をわずか0.5秒で測定します。お客さまご自身が、端末に表示される数値とカラー表示で体温を確認できますので、従来のスタッフによる検温に比べてソーシャルディスタンスが保たれ、より安心してご来場いただけるとともに、感染症の拡大予防につなげることができます^{※1}。

本検温システムの導入にあたっては、ソフトバンク株式会社（本社：東京都港区）とソフトバンク子会社で開発を担う日本コンピュータビジョン株式会社（本社：東京都千代田区）にご協力いただきました。

※1：検温の結果、37.5℃以上のお客さまのご入場はお断りさせていただきます

イオンエンターテイメントは、政府の「緊急事態宣言」を受け、全国で営業するイオンシネマを4月18日から臨時休業しておりましたが、5月4日の政府の緩和指針に基づく各自治体の感染防止措置内容の変更を受けて、5月18日（月）より27劇場、5月22日（金）より38劇場で営業を再開、さらに5月29日（金）より21劇場で営業を再開いたします。すでに営業再開した劇場での採用に続き、現在休業中の劇場についても、営業再開と同時に稼働させる計画です^{※2}。

※2：すべてのお客さまに検温のお願いをしていますので、入口が複数ある劇場では、本検温システムとスタッフによる検温を併用いたします

なお、営業再開劇場においては、安全対策を高めるため「接客スタッフのフェイスシールドの着用」「ポップコーン等のご購入の際は、使い捨て手袋を提供」などの対策（別紙ご参照）をすでに実施しています。

イオンエンターテイメントは、今後も引き続きお客さまが安心して映画をご鑑賞いただけるよう万全の対策をとり、あらゆる観点から感染予防と感染拡大リスクの低減に努めてまいります。

■自動検温システム「SenseThunder-Mini（センス・サンダー・ミニ）」の特徴

- ・高速かつ高精度な顔認識により、0.5秒で測定
- ・AIにより額の位置を測定し、顔の10,800点のポイントの温度を測定
- ・1.2m離れていても、動いていても測定可能
- ・測定結果を、数値とグリーン（体温正常）、レッド（体温異常^{※3}）のカラーで可視化
- ・赤外線サーモグラフィを活用し、誤差は±0.4℃

※3：イオンエンターテイメントでは37.5℃で設定しています



ロビー入口での検温の様子



画面イメージ

<新型コロナウイルス感染症対策について>

新型コロナウイルス感染症拡大予防策について、イオンシネマでは、以下の対応を行っています。

- 1) ご入場のお客さまへのマスク等着用をお願い
- 2) ご入場前にすべてのお客さまへ検温をお願い
- 3) 接客スタッフのフェイスシールド、マスクの着用
- 4) 座席の間隔をあけてのチケット販売
- 5) チケットもぎりの中止（チケットのご呈示のみで入場いただけます）
- 6) 事前チケット販売の中止（当日券のみの販売）
- 7) 劇場入口など各所へのアルコール消毒剤の設置
- 8) 劇場内のこまめな換気
- 9) 券売機・レジを1台間隔で使用
- 10) 自動券売機および売店前での足元サイン設置による間隔を空けた整列をお願い
- 11) 飛沫防止シートの設置
- 12) ポップコーン等のご購入の際は、使い捨て手袋を提供
- 13) 個包装のドリンクストローの提供
- 14) 座席のひじ掛けなどのアルコール除菌清掃
- 15) ブランケットの貸し出し中止
- 16) トイレの1台間隔使用
- 17) 退場の際のゴミ捨て用に専用テーブルを設置
- 18) 営業時間の短縮（ハッピーナイト上映の休止）
- 19) 従業員の体調管理とマスク着用の徹底